

おおず 市議会だより

2010
No.24

平成22年5月15日発行

●発行 大洲市議会 〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690番地の1 ☎0893-24-1730 FAX0893-23-1121



(3月)

3日 本会議(開会、提案説明)
8日 本会議(質疑・質問)
9日 本会議(質疑・質問)
10日 本会議(質疑・質問・委員会付託)
11日 総務企画委員会
12日 厚生文教委員会
15日 建設農林委員会
18日 本会議(委員長報告・質疑・討論・表決、閉会)

3月定例会の日程

「大洲藩船いろは丸購入契約書」

坂本龍馬が乗った大洲藩の蒸気船「いろは丸」。このほど、その購入契約書が明らかになり、4月23日大洲歴史探訪館で発表されました。
(説明する「榊おおず街なか再生館」河野達郎専務=右)

… 目次 …

- 2面～3面 3月定例会の概要
- 1月臨時会の概要
- 4面～7面 質疑・質問
- 8面～10面 常任委員会
議会豆知識
議会日誌



平成22年 3月定例会



平成22年度 当初予算

一般会計予算 歳出の主な事業

(単位：千円)

総務費

- ・大洲市がんばるひと応援事業補助金…………… 10,000
(魅力ある地域づくりに取り組む地域や団体を支援する事業)
- ・共同受信施設整備事業補助金…………… 99,365
(地上デジタルテレビ放送受信施設整備に対する補助金)

民生費

- ・大洲幸楽園耐震化整備改築事業補助金…………… 20,733
- ・子ども手当支給事業…………… 796,069

衛生費

- ・救急医療体制経費…………… 50,808
(輪番制病院運営事業、在宅当番医制への負担金等)
- ・合併浄化槽設置整備事業補助金…………… 41,728
(合併浄化槽設置に対する補助金)

農林水産業費

- ・中山間地域等直接支払事業交付金…………… 84,359
(中山間地域の農地保全、耕作放棄地対策の交付金)
- ・地産地消モデルタウン事業…………… 4,500
(情報発信、ブランド化、消費拡大等の推進事業)

商工費

- ・地域特産品開発事業補助金…………… 3,350
(市内の食材を活用した特産品の開発・販売事業)
- ・大洲藩と坂本龍馬観光事業…………… 5,889
(案内板設置、観光客輸送事業、歴史資料展示等)

土木費

- ・交付金道路整備事業…………… 300,000
(市道天貢線(板野橋)改良事業県委託金)
- ・城山公園整備事業…………… 121,659
(天守閣周辺の公園用地購入費等)

消防費

- ・防災行政無線等整備事業…………… 154,000
(長浜地域・大洲地域の施設整備)

教育費

- ・学校耐震化事業…………… 390,384
(新谷・喜多・長浜小学校、大洲北中学校の耐震化事業)
- ・学校給食センター建設事業…………… 86,547
(地質調査委託料、用地費等)

- ☞ 一般会計総額
239 億円
(前年比+ 1.9%)
- ☞ 特別会計
120 億 5,610 万円
(前年比- 5.1%)
- ☞ 企業会計
56 億 3,936 万円
(前年比- 1.7%)

平成22年第2回定例会は、3月3日から18日までの16日間を会期として開かれ、招集日には市長より、市政方針並びに当初予算など各議案の提案説明がありました。質疑・質問については14名の議員が立ち、3日間の舌戦が行われた後、市長提出議案40件並びに請願2件は各常任委員会に付託され、委員会審査が行われました。最終日には各委員長報告並びに討論の後、採決が行われ、市長から提出された平成22年度一般会計予算をはじめとする議案40件並びに追加提案された議案3件と議会運営委員会から提出された議案をいずれも原案のとおり可決・同意しました。なお、請願2件については、不採択となりました。

(詳細は次ページ)

人事案件（敬称略）

◆固定資産評価審査委員会委員

河本 治（河辺町三嶋）

任期 平成22年4月1日～

平成23年2月28日



第1回臨時会

1月25日第1回臨時会が開かれ、第1号議案「財産の取得について」、及び第2号議案「財産の処分について」の議案2件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

▼中学校電子黒板買入れ

相手方 株式会社 尾花
取得価格 17,754,450円

▼旧伊予肱川簡易保険保養センター売却

相手方 株式会社 新風会
処分価格 3,300万円

◆議案【市長提出分】

議案番号	件名	議決結果
第3号	平成22年度大洲市一般会計予算	原案可決
第4号	平成22年度大洲市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第5号	平成22年度大洲市国民健康保険診療所特別会計予算	原案可決
第6号	平成22年度大洲市老人保健特別会計予算	原案可決
第7号	平成22年度大洲市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第8号	平成22年度大洲市介護保険特別会計予算	原案可決
第9号	平成22年度大洲市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
第10号	平成22年度大洲市港湾施設事業特別会計予算	原案可決
第11号	平成22年度大洲市土地取得造成特別会計予算	原案可決
第12号	平成22年度大洲市土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
第13号	平成22年度大洲市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
第14号	平成22年度大洲市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
第15号	平成22年度大洲市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
第16号	平成22年度大洲市駐車場事業特別会計予算	原案可決
第17号	平成22年度大洲市温泉事業特別会計予算	原案可決
第18号	平成22年度大洲市商業集積施設管理特別会計予算	原案可決
第19号	平成22年度大洲市水道事業会計予算	原案可決
第20号	平成22年度大洲市工業用水道事業会計予算	原案可決
第21号	平成22年度大洲市病院事業会計予算	原案可決
第22号	平成21年度大洲市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
第23号	平成21年度大洲市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
第24号	平成21年度大洲市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
第25号	平成21年度大洲市土地取得造成特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第26号	平成21年度大洲市土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
第27号	平成21年度大洲市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第28号	平成21年度大洲市病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決
第29号	大洲市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の特例措置に関する条例の制定について	原案可決
第30号	大洲市の市長等の給与及び議員報酬の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
第31号	大洲市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決
第32号	フラワーパークおおず条例の一部改正について	原案可決
第33号	大洲市中小企業振興資金融資条例の一部改正について	原案可決
第34号	大洲市水道事業の設置等に関する条例及び大洲市上水道使用条例の一部改正について	原案可決
第35号	大洲市農村地域工業等導入地区における固定資産税の特例措置に関する条例の廃止について	原案可決
第36号	字の廃止について	原案可決
第37号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
第38号	市道の路線認定について	原案可決
第39号	市道の路線変更について	原案可決
第40号	大洲市・内子町山林管理組合の解散について	原案可決
第41号	大洲市・内子町山林管理組合の解散に伴う財産処分について	原案可決
第42号	大洲市土地開発公社定款の変更について	原案可決
第43号	平成21年度大洲市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決
第44号	大洲市過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正について	原案可決
第45号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意

◆議案【委員会提出分】

議案番号	件名	議決結果
委第2号	大洲市議会委員会条例の一部改正について	原案可決

◆請願

請願番号	件名	議決結果
第5号	非核三原則の法制化についての「意見書」採択を求める請願	不採択
第6号	最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める請願書	不採択

◆報告

報告番号	件名	議決等結果
第1号	青島海運有限会社の経営状況を説明する書類の提出について	受理

質疑・質問

3月定例会の
主な質問項目

1 後藤武薫議員

- ① 財政問題
- ② 農業問題
- ③ 地域振興
- ④ 教育問題

2 安川哲生議員

- ① 市長の政治姿勢
- ② 学校統廃合
- ③ 耐震化
- ④ 山鳥坂ダム事業

3 山本光明議員

- ① 行財政関係
- ② 地場産業の育成
- ③ 運動施設整備
- ④ 医療問題

4 二宮 淳議員

- ① 鹿野川ダムトンネル洪水吐き
- ② AED
- ③ 生活保護費

5 中野寛之議員

- ① 市長の政治姿勢
- ② 松山自動車道の一部無料化
- ③ 子ども手当
- ④ 自殺予防対策

6 押田憲一議員

- ① 肱川橋の架け替え
- ② がんばるひと応援事業
- ③ 市民会館整備
- ④ 循環バス

7 西村 豊議員

- ① 農業問題
- ② 農家宿泊体験
- ③ 小型福祉バス
- ④ 住宅協会の清算計画

8 上田栄一議員

- ① 雇用・景気対策
- ② 地域医療
- ③ 市内の通信インフラ整備
- ④ 市内の交通手段

9 中野茂明議員

- ① 河川改修
- ② 肱川の水質
- ③ 循環バス

10 梅木加津子議員

- ① 集中改革プラン
- ② 学校給食センター建設
- ③ 次世代育成支援行動計画
- ④ 治水対策

11 梅木良照議員

- ① 予算と地域活性化
- ② 人事評価制度
- ③ イメージアップ戦略
- ④ 茶業の振興

12 梶田和美議員

- ① 介護事業
- ② 安全安心のまちづくり
- ③ 子育て支援
- ④ 予防ワクチンの助成

13 武田雅司議員

- ① 財政問題
- ② 集中改革プラン
- ③ 地域経済の活性化
- ④ 公共交通空白地の解消

14 宇都宮宗康議員

- ① 税・財政関係
- ② 養護老人ホーム
- ③ 高校実質無償化
- ④ 土地区画整理事業

予算編成方針

問 平成22年度当初予算編成方針について

答 義務的経費は扶助費の増加に加え、交通基盤の整備、生活環境の整備、また消防防災体制の充実、

福祉、保健の充実など多種多様な財政需要が引き続き生じています。景気の低迷が続く中、依然として厳しい財政状況であり、大洲市を元気にしたいという思いを込め、市民サービスの向上に努めるべく、施策の選択と集中により財源の効率的な配分に留意しました。歳入の状況については、市税や使用料などの自主財源の割合が26・3%と低い状況で、昨年度より2・7%減少しており、歳出の状況については、定員適正化計画及び公債費負担適正化計画の推進により、人件費と公債費は約5億4、000万円を削減しましたが、扶助費については子ども手当の給付費を計上したことにより、約6億2、000万円の大幅な増額となり、義務的経費は約8、500万円の増、歳出総額の50・7%を占めています。

投資的経費については、学校耐震化による新谷小学校校舎建設事業や学校給食センター整備事業費など、約2億2、000万円増の約28億円を計上し、歳出総額の11・8%となっています。

市民会館整備

問 改修・建て替え計画について

答 市民会館は昭和43年11月に竣工以来40年余りが経過しており、特に、大ホールの椅子の改修については、建築以来交換等を行っておらず、シートのクッション性の低下等、経年劣化はもろろんのことながら、平均的な現代人の体型にフィットしないものとなっており、座り心地が悪く、また座席の前後のスペースも狭いことから、利用者の皆様から改善を要望する声が上がっているところです。その他



改修を行う予定の市民会館

トイレの洋式化、防音ドアの改修、手すりの設置等を行うこととしており、これらの改修により、長時間となる大ホールのイベントを市民の皆様に一層快適に楽しんでいたただけるよう空間環境整備を行うこととしています。

市民会館の建て替えについては、大洲市総合計画において、厳しい財政状況のもとで、有効な活用と維持管理を図るとともに、長期的な視点で建て替えの検討を行うこととしており、現状では、現施設の機能向上をさせることで施設の有効活用と維持管理を図っていきたくと考えています。

循環バス

問 利用状況と今後の方針について

答 循環バス「ぐるりんおおず」の運行にかかる収支概要については、運賃等の収入額が345万円、乗務員日当等の支出額が937万円、差し引き赤字額が592万円です。

去年1月11日の運行開始



市内を走る循環バス「ぐるりんおおず」

から12月末日までの利用者総数は約3万5、500人で、1年を通しては1日当たり100人程度の利用者となっております。

市としては、平成20年7月に策定した大洲市公共交通の基本方針において、市内の公共交通を中心部交通、幹線交通、地域内交通の3つに区分し、「ぐるりんおおず」は、既存の路線バスと相まって中心部交通を支えるものであり、これと連携した地域内交通の整備により、市内の公共交通体系の整備に努めていくことから、市の施策の一つを担っていただいているとの認識のもとに、引き続き利用促進に

つながるようできるだけの方策を講じていきたいと考えています。

一方、循環バス運行会社におかれましては、利用者の利便性向上を目的に、4月1日から、運行時刻表の変更と、1日8便から1日12便に増便することから、一層の利用促進につながっていくけばと期待をしているところです。

パナソニック大洲工場

問 閉鎖による影響について

答 パナソニック四国エレクトロニクス大洲工場閉鎖による税収減の見込みについては、平成22年度における法人市民税及び個人市民税は、前年度または前年中の所得をもとに課税するので、大きな影響はないものと考えています。また、同工場の固定資産税には、土地、家屋及び償却資産があるが、固定資産税の賦課期日は毎年1月1日となっております。平成22年度では、償却資産の減価償却による若干の減収が見込まれるが、

大きな影響はないものと考えています。

しかしながら、平成23年度以降については、法人市民税は全額が減収、個人市民税についても市外への転出がどの程度あるか不透明であるが、少なからず影響があるものと考えています。また、同工場の固定資産税のうち、事業廃止に伴う償却資産分としてその約29%が減収となり、さらには家屋の取り壊しがあるとすれば約62%が減収になるなど大きな影響を受けるものと考えています。

子ども手当

問 制度の効果と手続きについて

答 子ども手当については、平成22年度は1人当たり月額1万3、000円を支給するものです。

この手当が創設されたことにより、新たに4億円近い国庫補助金が交付されるので、地域活性化にもつながり、大洲市にとっては有意義な制度であると考えており、子育てに有効に活用

していただき、少子化対策の一助となることを期待しているところですが、平成22年度については、地方においても費用負担が必要となっているので、平成23年度以降については全額国の負担による実施をお願いしたいと考えています。またその一方、多額の財源を必要とすることから扶養控除の廃止なども議論されており、他の制度において負担が増えるのではないかと心配をしています。

手続などの周知方法については、認定請求に係る申請猶予期間が設けられ、平成22年9月30日までに請求があった場合は、4月分にかかのぼり支給することが検討されており、受給者が漏れなく、かつ円滑に受給できるように制度概要や申請手続について回覧文書やホームページ、広報紙等に掲載するとともに、児童手当や住民基本台帳の情報を活用し、児童手当の対象となっていない子供の世帯主等に案内を行うなど、周知徹底に努めていきたいと考えています。

問 現状と対策について

答 生活保護の状況については、2月末の生活保護世帯数は264世帯で、前年度の同時期と比較して40世帯の増、保護率は0・69%で、昨年4月以降常に0・6%を超える厳しい状況となっております。現制度では、支給される保護費の負担割合が国4分の3、地方4分の1となっております、平成20年度における大洲市の保護費の総額は5億3、567万円、市の負担額は1億3、392万円に上り、平成21年度においては約1億3、500万円の負担額を見込んでいます。

ハローワーク大洲管内の有効求人倍率は、平成22年1月末現在0・62倍で、合併以降おおむね0・6から0・8倍前後で推移しており、依然として厳しい雇用環境となっております。失業者がふえることで生活保護者がふえていくことも考えられ、雇用の確保なくしては、その抜本的な解決にはなら

ないと考えています。

そのような考え方から企業誘致活動を強力に進めていくため、大洲市企業立地促進条例を制定するとともに、市内企業の育成も重要であると考え、実態把握のために企業訪問を継続しています。企業側の課題の解決に市としても何らかのお手伝いができれば少しでも経営が改善され、ひいては雇用拡大により、生活保護費の抑制にもつながるのではないかと考えています。

市立大洲病院

問 看護師の確保状況について

答 市立大洲病院における看護基準については、

平成20年1月から入院基本料7対1の施設基準の届け出をし、急性期病院として看護必要度の高い入院患者の受け入れをしており、当院でも看護師の確保は大変重要な課題と考えています。平成21年度では看護師を新規に7名採用し、平成22年度は6名の採用を予定しています。県内でも、大規

模病院で大量採用をしているため、当院も近年採用試験における看護師の応募が減少しています。このため、平成21年度に実施した採用試験から採用条件を35歳に引き上げており、平成22年度についても採用年齢のさらなる引き上げについて検討しているところ です。

当院看護師の離職率は平成20年度2・7%、平成21年度1・7%であり、極めて低い状態を保っている中で、今後も看護師確保とあわせて、離職が少なくなるよう看護教育の充実等、魅力ある職場づくりへ努力をしていきたいと考えています。

龍馬と観光事業

問 歴史を活用した観光事業について

答 坂本龍馬はNHK大河ドラマ「龍馬伝」によ

り大きくクローズアップされており、当市には龍馬にゆかりのある河辺に龍馬脱藩の道、長浜に富屋金兵衛宅跡、江湖の港などがあり、大洲藩と坂本龍馬観光モニター事業を実施しています。

このモニター事業の途中経過ですが、明治初期の現存している蔵を活用し、大洲歴史探訪館を整備し、1月8日から大洲藩と坂本龍馬にかかわる資料をパネルにして展示しています。来館者は、2月末までで2、434人、1日平均約50人となっております。

また、いろは丸の購入に際して、歴史的に新たな事実を発見できる資料の公開の許可をいただいております。現在、歴史探訪館においてパネル展示をしているが、同時にその翻訳作業も進めており、その作業が完了すれば、新たな話題を提供できることになると考えています。



龍馬に関する史料を展示する「大洲歴史探訪館」

高速道路無料化

問 効果と新たな事業の取り組みについて

答 高速道路無料化については、6月から松山以

南について試験的に実施されることから、観光分野における観光交流人口の増加や観光客の消費金額の増加などの経済効果、また地域活性化に向けての波及効果も期待しています。

一方、高速道路の利用による空洞化や通過点になることのないよう、魅力ある

坂本龍馬を活用した観光事業のPRについては、モニター事業のポスターやリーフレットを作成し、旅行業者を中心に配布をしており、観光、旅行会社2社により旅行ツアー商品として取り扱っていただき、その結果約1、500人の観光客が来られ、4月以降の旅行ツアー商品としても取り扱っていただくことが内定している旅行会社も3社あることから、さらに一定の集客が見込めるものと考えています。

まちづくりに努めていかなければならず、NHK大河ドラマ龍馬伝、坂の上の雲などの波及効果を生かせる大きなチャンスととらえており、新しい事業にも取り組んでいきたいと考えています。

この高速道路の無料化のメリットを最大限活用していくためには、宇和島市、西予市、八幡浜市など南予の広域における観光客の受け入れのための体制づくり、また連携したPRなどを検討することが重要であると考えており、南予地域の各自治体へ呼びかけを行っているところです。

また、観光協会や商工会議所などを含めて実行委員会を組織し、高速道路無料化を有効に活用していくため、「ロードTO龍馬」と題して龍馬脱藩の道を活用したミニウォーク事業や広域連携事業などを実施し、地域のPRに努めていきたいと考えています。

山鳥坂ダム建設事業

問 河川整備計画と生活再建事業について

答 水没移転者等の生活再建については、現在国の有識者会議で、今後の治水のあり方について幅広い治水対策案の実案手法、新たな評価軸及び総合的な評価の考え方などが、ことしの夏までにまとめられると聞いています。その後、個別ダムの取り扱いを検討されることとあり、その過程において、市として肱川の治水対策における山鳥坂ダムの必要性を強く訴え、生活再建に向けた対策が早期再開できるよう努めていきたいと考えています。

地域振興計画については、愛媛県に対し、水源地域整備計画策定に向け申請を行い、県では昨年6月に計画の前段となる水源地域指定の申し出を国に対して行っていました。また、事業凍結により、手続が中断している状態です。当市としては地域住民の生活にかかわる緊急的な事業については、できる限り実施すべきと考えており、特に、地域が強く望まれている日常生活に一番影響を与える水道施設や生活道路等の整備については、交付金事業を活用し、最

優先の課題として取り組んでいきたいと考えています。

住宅協会

問 事業内容と解散処理について

答 住宅協会は、設立後44年を経過し、これまで

に実施してきた事業は96事業、その総事業費は約30億円となつています。住宅協会は市の施策としての企業誘致による雇用の創出や市民への住宅用地の供給など高度成長期から現在に至るまで、市民の職、住、遊の提供や公共事業への協力など当市の発展に多大な貢献をしてきたと評価されます。

また、事業実施に伴う利益や導水路等の社会資本の提供などを合わせると約6億円を超える額が、住宅協会から市に対して寄附いただいており、現在住宅協会の資産としては、3カ所の土地を保有しており、いずれも帳簿上の価格が販売予定価格を上回っているため、その差額相当分について市が支援するものです。

今後は、平成23年度に法

に基づく住宅協会の清算委員会を設立して、平成24年7月を目標としてすべての清算手続を終了し、解散をする予定です。

肱川橋架け替え

問 事業計画について

答 事業主体が国であることから、これまでのところ国土交通省大洲河川国道事務所主管のもと、肱川橋周辺まちづくり検討委員会が設置され、事業方針につき、検討が進められています。新しい橋梁は耐震性、

耐久性にすぐれ、周囲の景観にも溶け込みやすい「けた橋」案が採用される予定です。橋長はおおむね現状の180メートルで変更はないものの、歩道の幅員を現状の1・75メートルから3メートルに拡張するなど、利用者の利便性、安全性の向上に配慮した方針が出されています。

なお、肱川橋の架け替えは大規模な事業であるのに加え、肱南、肱北の導線からも現在の位置での架け替えが理想であり、工事期間中は、現在の橋と同規模の仮橋の設置が避けて通れず、仮橋の位置については、河川上流部への設置が有力となっております。当事業は仮橋の建設、新しい橋の架け替え、そして仮橋の撤去と大変手間のかかる事業となるのに加え、河川の洪水期を外しての施工となることから、おおむね10年程度の期間を要するのではないかと予想されており、市としても、早期完成に向け、住民の皆様方と協力しながら、鋭意努力していきたいと考えています。



架け替え事業が計画されている肱川橋

委員会審査

3月定例会で委員会に付託された議案等について審査を行いました。

総務企画委員会

委員長 山 本 光 明

◆「大洲市がんばるひと応援事業補助金」について

説明 この事業は、魅力ある地域づくりのために頑張る地域や団体が、自らの創意工夫により、地域課題を解決しようとする環境を整えることで、地域の一体的かつ自立的発展を図ることを目的に創設された事業であり、市長が市政に取り組む基本姿勢の一つである「3つのC」、チャレンジ、コラボレーション、チェンジを實現させようとするものである。

意見 市民に対し十分な周知に努めるとともに、申請された事業を審査する委員会については、地域性に十分配慮したメンバー構成となるようお願いしたい。この事業により、地域活性化が図られ、元気で活力の



指定管理者制度を導入している
おおぞ赤煉瓦館

あるまちづくりが推進できることを期待する。

◆指定管理者制度について

問 指定管理料について

答 管理団体に対して急激に経営努力を求めても運営ができなくなる可能性もあるため、今まで市が直接管理していた経費を基に決定しているのが実情であるが、大洲城や赤煉瓦館など比較的有利な施設について

では、今後経営努力を求めている、現在契約している5年の期間中に入場料収入等が上がれば、その後の5年間は見直すことになる。しかし、一方では、経営努力も発揮されにくい施設もあるため、これらについては運営費等に見合った支援をしなければならぬと考えている。

厚生文教委員会

委員長 水 本 保

◆学校給食センター建設事業について

問 PFI導入可能性調査について

答 今回の調査においては、かなどの各種調査を実施し、従来方式とPFI方式とを比較検討した結果、PFI事業として成り立つという結論を得ているものであるが、最終的にPFI事業としてメリットがあるかどうかについては、PFIアドバイザリー業務の中で、検討し、公表した上で、判断することとなる。参考までに、今回の調査において、



学校給食を楽しむ子どもたち
(柳沢小学校)

維持管理・運営期間を15年間とした場合、従来手法とPFI方式との経費を比較したところ、概算及び参考値ではあるが、従来方式による事業では22億円、PFI方式においては21億円となったものである。

問 アドバイザリー業務について

答 具体的な業務としては、実施方針を作成し、特定事業としての評価・選定を行うなど学校給食事業がPFI事業として成り立つかどうかについて、市の整備方針をもとに改めて精査し、この事業の内容・期間・実施方法等を公表していくものである。また、民間事

業者の募集にあたっては、入札説明書の作成や落札者の決定基準並びに、要求水準書を作成し、事業者を選定するための審査委員会の補助なども行うとともに、事業者決定後においては落札者グループとの基本協定や事業契約及び金融機関との協議に関わっていくなど、PFI事業においては、金融・財務・法務及び技術面などにおいて、専門的なことが要求されるため、PFI事業に実績のある業者に委託して、適切かつ円滑に推進していく考えである。

◆学童保育事業について

問 設置計画について

答 次世代育成支援行動計画を検討するにあたっては、小学校及び就学前児童の保護者の方に学童保育を利用するかどうかについて、アンケート調査を実施し、その結果、希望のあった17箇所を計画目標として設定しているところである。現在、実施している喜多児童クラブにおいては、場所の確保において一人あたりの面積の関係上、やむを



今後学童保育の施設設備が推進される(喜多児童館)

得ず15人程度と定員を定めているところであるが、今後、学童保育事業を推進していくにあたっては、十分な面積が確保できる場所の選定とともに指導員等の条件が整ったところから、施設整備を図るための経費などを平成22年度以降の補正予算等に計上することとし、保護者等にも十分な説明を行いながら、できるだけ、早い時期に最善の方向で開設できるように取り組んでいきたい。

問 指導員の雇用方針について

答 現在、喜多児童クラブにおいては、指導員を10名登録し、その中で勤務

表を作成し、2名体制で対応しているところであるが、指導員の募集にあたっては、教員免許や保育士の資格を有している者並びに資格等は関係なく意欲のある方を雇用している状況であり、今後、事業拡大に伴い、そういった条件を踏まえ、それぞれ各児童クラブに配置していきたいと考えている。

建設農林委員会

委員長 福積章 男

◆I・Jターン定住促進支援事業費補助金について

説明 人口の減少に伴い第1次産業が衰退するとともに、耕作放棄地が増加し、集落機能の維持も困難になるなどの影響が出ている。その対策の1つとして、当

事業は第1次産業従事者としての人材の確保・育成を図るため、本市に生活基盤のないI・Jターン者で第1次産業に就業し、かつ市内に定住する50歳未満の方を対象に、家賃の一部を補助することで、定住促進を図る事業である。

要望 今回2名分の予算措

置であるが、この施策をもつと拡充し、今後この事業を契機に様々な分野で積極的に取り組んでほしい。

◆地産地消モデルタウン事業について

問 ブランド化と事業の現状について

答 4月オープン『愛たい菜』の運営面については、コンサルティング業務として、食材の研究をしている方に、ソフト面を中心にアドバイスを受ける予定である。また平成21年度から地産地消推進協議会を組織し、学校給食のメニュー開発や地元食材供給率の向上を図るための検証やドレッシングの開発、大洲農高と

農産物直売所「愛たい菜」



～議会の活動～

議会豆知識

- Q. 議会はいつ開催されるの？
A. 定例会が年4回(3, 6, 9, 12月)あり、必要に応じて臨時会が開催されます。
- Q. 本会議とは？
A. 全議員が議場に集まり予算や条例等の議案を審議する会議で、議会の意思はすべて本会議で決定されます。また本会議では、市長などに対して市政全般についての質問も行われます。
- Q. 委員会とは？
A. 本会議で審議する内容を分担して詳細に審査・調査する機関です。委員会には常設の常任委員会、臨時的に設置される特別委員会、及び議会の運営を協議する議会運営委員会があり、議会の会期中はもちろん、閉会中においても開催されます。

の連携によるレシピ集の作成など、農産物直売所だけでなく、当市全体における地産地消の推進を図っていく事業を有効に活用していきたいと考えている。

◆鹿野川地区まちづくり交付金事業について

問 事業内容について

答 この事業は肱川町の鹿野川地区において、国のまちづくり交付金を活用し、地域の振興を図るとともに、個性あふれるまちづ

くりを推進するため、平成19年度から23年度までの5年間で、延べ10事業を約3億7,400万円で整備する計画である。平成22年度は市道ダム河辺橋線道路改良事業、街灯整備、並びに観光施設への誘導のための案内サイン工事等を計画している。

◆畜産業の振興について

問 畜産業の現状と振興対策について

答 乳用牛農家は26戸で800頭、肉用牛は26戸

めに、今後も引き続き支援していききたいと考えている。

議会日誌

《12月》

25日・一部事務組合議定会定例会（4議会）

《1月》

14日・全国市議会議長会地方財政委員会正副委員長会
16日・松山市議会開設120周年記念事業（松山市）

20～22日・田中、岡、岩田、梅木議員個人行政視察（長崎市、福岡市、白杵市）

25日・議会運営委員会
”・第1回臨時会



「愛媛甘とろ豚」の生産に取り組み養豚家（タウン情報まつやま2009年6月号掲載）

で1、700頭、養豚は12戸で3万2、200頭、養鶏は11戸で36万羽を飼育している。市としては、新たな畜産経営チャレンジ事業として、愛媛県ブランド「愛媛甘とろ豚」の取り組みに支援する一方、酪農家の経営環境を改善するため、平成4年から酪農ヘルパー利用組合育成事業へ補助を行っている。このヘルパー事業は、酪農家が一年中家畜の世話で休みを取ることができないことから、酪農を経験された専門の方がヘルパーとなり事業を行っているもので、酪農家の心身の休息と、経営の安定化を図るた



龍馬脱藩の川下り

（祇園公園の八重桜）



28日・南予市議会議長会（西予市）

《2月》
1日・東京都あきる野市議会行政視察来市
2日・議会運営委員会

3～5日・山下、押田、村上、福積、山本、上田議員個人行政視察（境港市、大田市、広島市、府中市）

4～6日・吉岡、向井、後藤、宮本、水本、武田、西村、安川、大野議員個人行政視察（井原市、伊賀市、多気町）

8日・滋賀県守山市議会行政視察来市
9～10日・中野（寛）議員個人行政視察（吹田市）

9日・全国市議会議長会理事会（東京都）

”・全国市議会議長会評議員会（東京都）

10日・全国市議会議長会地方財政委員会（東京都）
15日・国道197号（大洲・八幡浜・西宇和間）

地域高規格道路建設促進期成同盟会民主党要望（松山市）
18日・広域行政圏協議会総会（東京都）

19～20日・二宮議員個人行政視察（東京都）

22日・奈良県天理市議会行政視察来市

23日・全国高速自動車道市議会協議会定期総会（東京都）

24日・議会運営委員会
《3月》
3～18日・第2回定例会

編集後記

卒業式、入学式と、喜ばしくもちょっぴり寂しいわが子の成長。出会いと別れの季節とはいえ、感傷に浸っている間に周囲の環境が大きく変わり、気がつけばはや5月。あれあれ、ちょっと待ってー菜の花もサクラムもツツジも、そんなにあって…。早々に店じまいですか？

国・地方ともに厳しい経済情勢の中ですが、私たちは明るく住みよい大洲市を目指し、議会としての責務を果たしていきますので、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。



少し緊張しているかな？（蔵川小学校入学式）